



大田区シンボルマーク

大田区政に関する世論調査

令和 7 年 5 月実施

(概要版)

大田区では、区民の皆様のご意見を伺う方法の一つとして、昭和49年から「大田区政に関する世論調査」を実施しています。この小冊子は、その調査結果の概要をお知らせするものです。

調査にご協力いただきました皆様に心からお礼申し上げます。

令和 7 年11月

大田区 企画経営部 広聴広報課

■調査概要

対 象 者 区内に在住する満 18 歳以上の男女個人（外国人を含む）
対 象 数 4,000 人
回 収 数 1,718 人
回 収 率 43.0%
有効回収数 1,716 人（電子申請での回答含む）
有効回収率 42.9%
抽 出 方 法 層化無作為抽出法
調 査 方 法 郵送調査（回収方法は郵送回収に加え、スマートフォンおよびパソコンを利用した電子申請からの回答も実施）

■グラフの見方

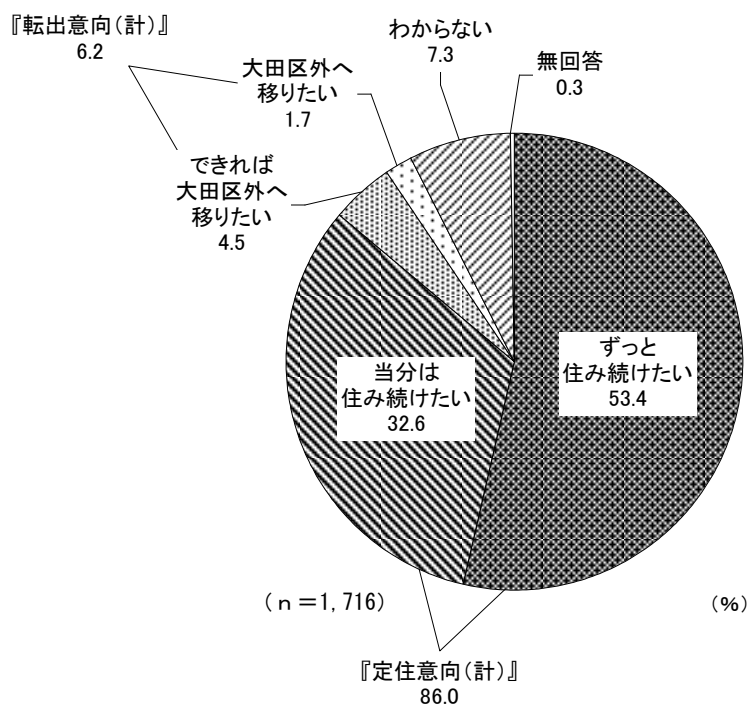
- ・ n はその設問の回答者数を表す。
- ・ 集計は小数点以下第二位を四捨五入してあるので、合計が 100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答の場合は、合計が 100%を超えることがある。

1. 定住性 (1) 居住年数 ☆ (2) 定住意向【P2】 ☆ (3) ずっと住みたい理由【P2】 (4) 当分は住みたい期間 ☆ (5) 区外へ移りたい理由【P3】 ☆ (6) 住んでいるまちが魅力的か【P3】 2. 暮らしやすさ ☆ (1) 住んでいるまちの暮らしやすさ【P4】 ☆ (2) 生活環境の満足度【P5】 ☆ (3) 住んでいるまちにどのようになってほしいか【P6】 3. 基本目標1 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち ☆ (1) こどもの権利（または「児童の権利に関する条約」）の認知度【P7】 4. 基本目標2 文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち ☆ (1) 区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境、気軽にスポーツ、健康づくりに取り組めたり、自由に学びを深められる環境への満足度【P7】 (2) 区内の環境に満足している理由 (3) 区内の環境に満足していない理由 ☆ (4) 男女の地位平等【P8】 ☆ (5) 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか【P9】 ☆ (6) 障がいの有無にかかわらず理解しあう環境があると感じているか【P9】 ☆ (7) 地域活動への参加意向【P10】 ☆ (8) 地域活動に参加した、かかわった経験【P10】 ☆ (9) 日常生活のなかで充実感や張り合いを感じる時【P11】	5. 基本目標3 豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち ☆ (1) 区に取り組んでほしいこと【P12】 ☆ (2) 生き物の豊かさへの満足度【P12】 ☆ (3) 家庭で実施している環境配慮行動【P13】 6. 基本目標4 安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち ☆ (1) 災害情報の入手手段【P14】 ☆ (2) 防災に対する意識【P15】 ☆ (3) 住んでいるまちの治安の変化【P15】 7. 区政への関心と要望 ☆ (1) 大田区等の制度・施策・施設の認知度【P16】 ☆ (2) 施策要望【P17】 ☆ (3) 区内施設の利用目的【P18】 ☆ (4) 区の媒体の利用頻度【P19】 ☆ (5) 必要な区政情報がわかりやすく届いていると感じているか【P20】 ☆ (6) オンライン化により行政手続は便利になったと感じているか【P20】 ☆ (7) 区の職員の窓口や電話対応への印象【P21】 ☆ (8) 区政への参加意向【P21】 (9) 区政に参加したいと思わない理由
---	---

1. 定住性

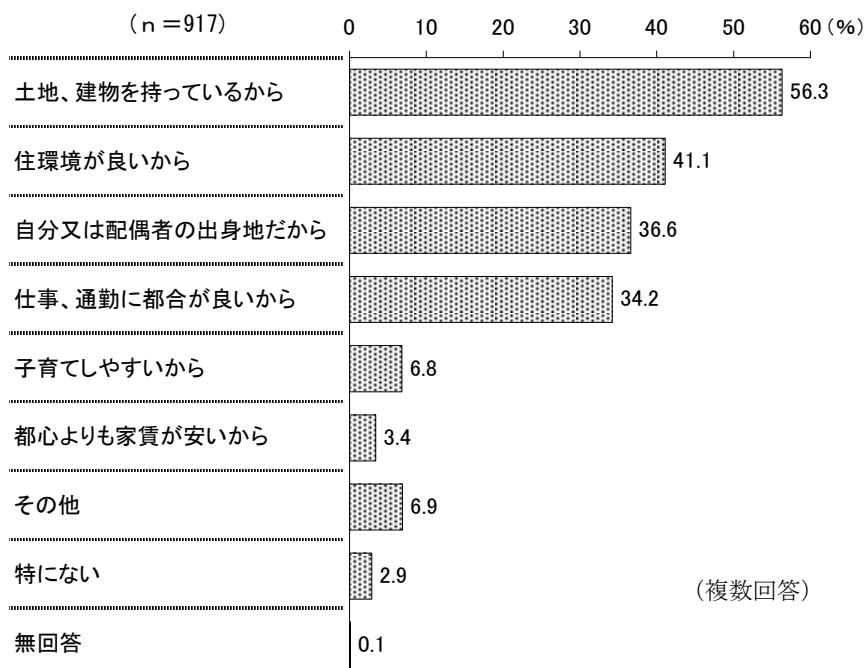
■定住意向・・・『定住意向（計）』は8割半ば

定住意向を聞いたところ、「ずっと住みたい」（53.4％）が5割を超えて最も高く、これに「当分は住みたい」（32.6％）を合わせた『定住意向（計）』（86.0％）は8割半ばとなっている。一方、「できれば大田区外へ移りたい」（4.5％）と「大田区外へ移りたい」（1.7％）を合わせた『転出意向（計）』（6.2％）は1割未満となっている。



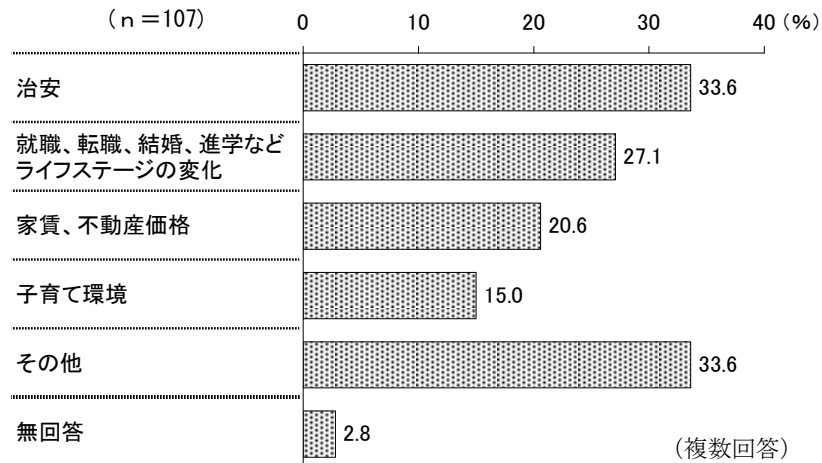
■ずっと住みたい理由・・・「土地、建物を持っているから」が5割半ば

これからも大田区に「ずっと住みたい」と答えた人（917人）に、その理由を聞いたところ、「土地、建物を持っているから」（56.3％）が5割半ばで最も高く、次いで「住環境が良いから」（41.1％）、「自分又は配偶者の出身地だから」（36.6％）、「仕事、通勤に都合が良いから」（34.2％）などの順になっている。



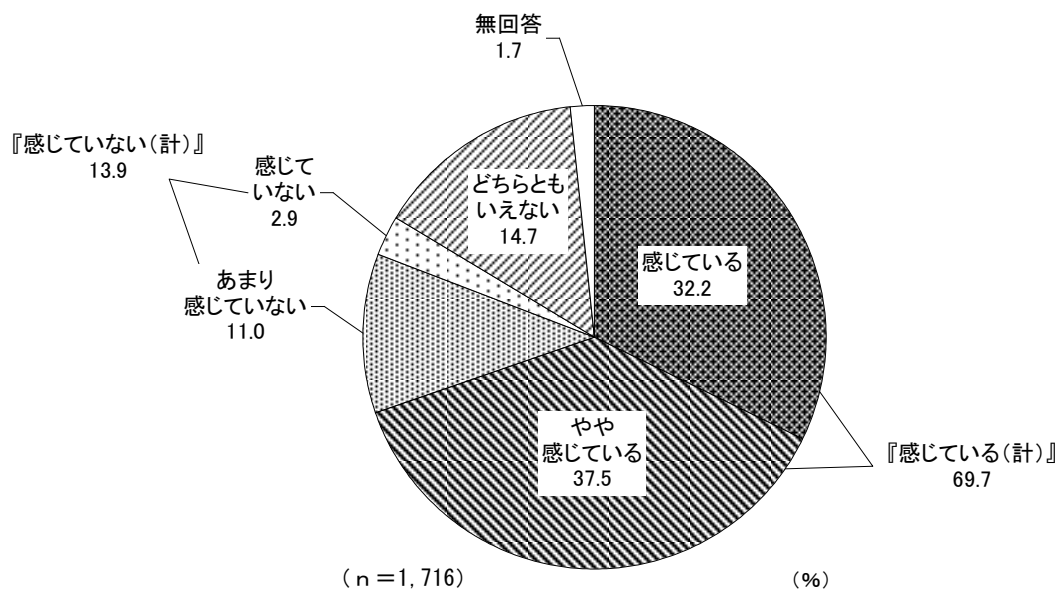
■区外へ移りたい理由・・・「治安」が3割を超える

「できれば大田区外へ移りたい」または「大田区外へ移りたい」と答えた人（107人）に、その理由を聞いたところ、「治安」（33.6%）が3割を超えて最も高く、次いで「就職、転職、結婚、進学などライフステージの変化」（27.1%）、「家賃、不動産価格」（20.6%）、「子育て環境」（15.0%）の順になっている。



■住んでいるまちが魅力的か・・・『感じている（計）』は7割

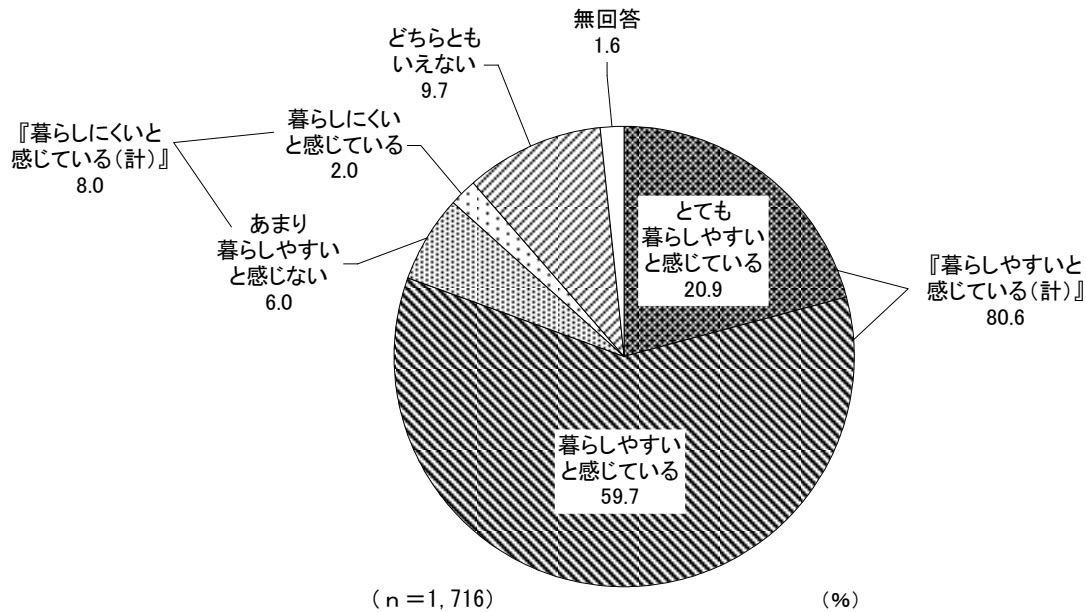
住んでいるまちが魅力的であると感じているか聞いたところ、「感じている」（32.2%）と「やや感じている」（37.5%）を合わせた『感じている（計）』（69.7%）は7割となっている。一方、「あまり感じていない」（11.0%）と「感じていない」（2.9%）を合わせた『感じていない（計）』（13.9%）は1割を超えている。



2. 暮らしやすさ

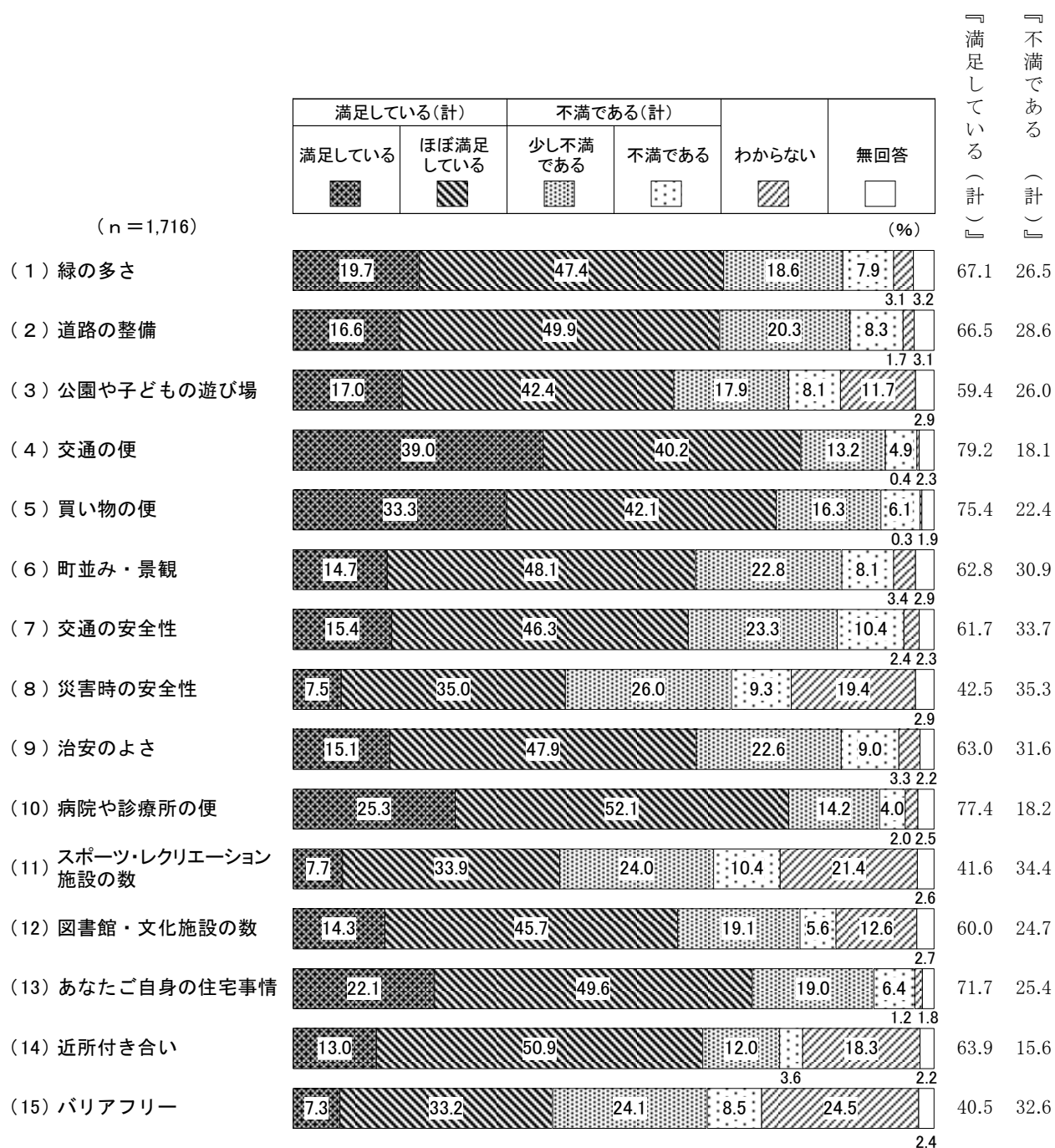
■住んでいるまちの暮らしやすさ・・・『暮らしやすいと感じている（計）』は約8割

現在住んでいるまちの暮らしやすさについて聞いたところ、「暮らしやすいと感じている」(59.7%)が6割で最も高く、これに「とても暮らしやすいと感じている」(20.9%)を合わせた『暮らしやすいと感じている（計）』(80.6%)は約8割となっている。一方、「あまり暮らしやすいと感じない」(6.0%)と「暮らしにくいと感じている」(2.0%)を合わせた『暮らしにくいと感じている（計）』(8.0%)は1割未満となっている。



■生活環境の満足度・・・『満足している（計）』は「交通の便」で約8割

住んでいるまちの生活環境について聞いたところ、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足している（計）』は「交通の便」（79.2%）で約8割と最も高く、次いで「病院や診療所の便」（77.4%）、「買い物の便」（75.4%）などの順になっている。一方、「少し不満である」と「不満である」を合わせた『不満である（計）』は「災害時の安全性」（35.3%）と「スポーツ・レクリエーション施設の数」（34.4%）で3割半ばと高くなっている。

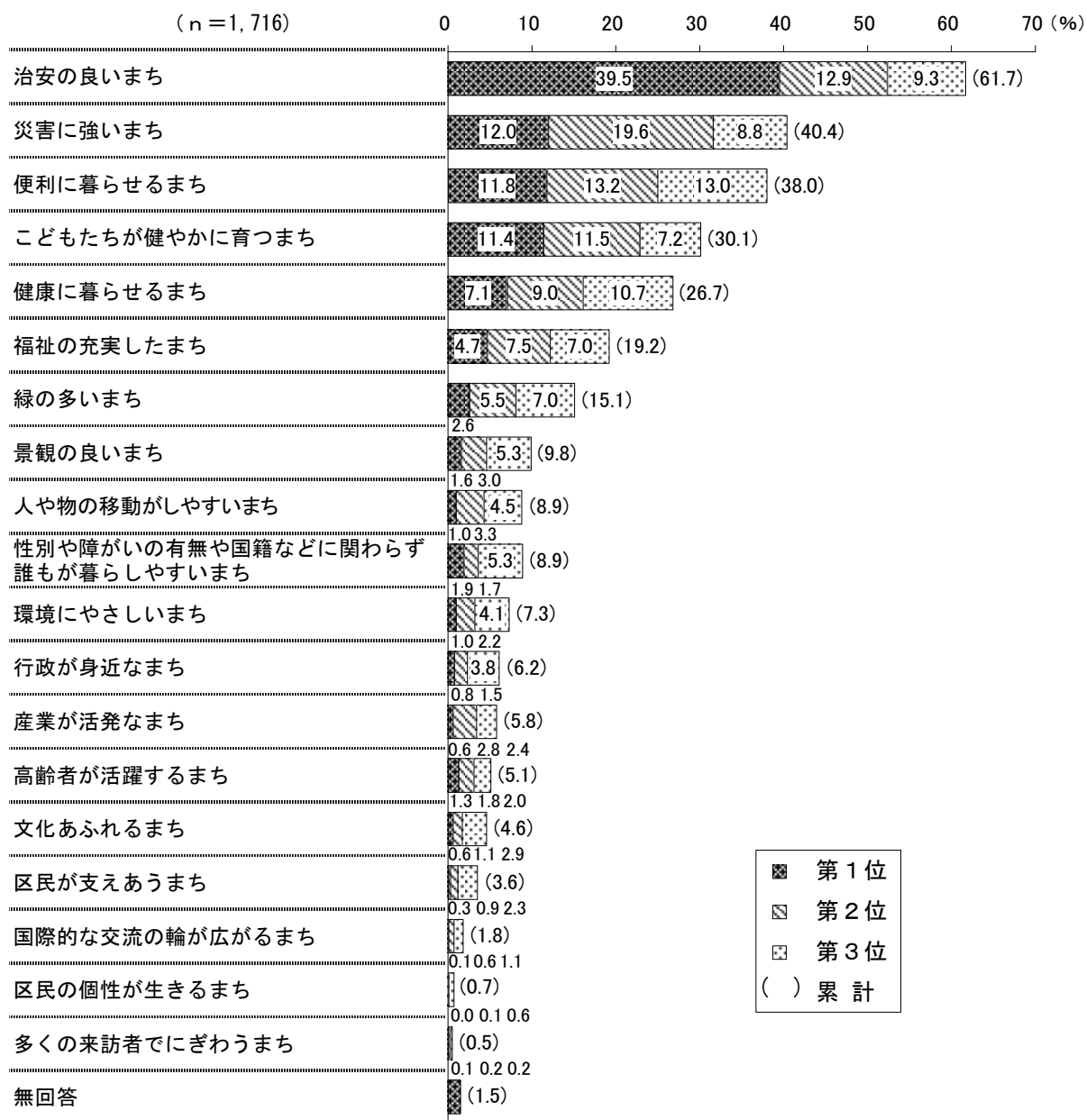


■住んでいるまちにどのようなになってほしいか

・・・《累計》では「治安の良いまち」が6割を超える

住んでいるまちにどのようなになってほしいか聞いたところ、第1位では「治安の良いまち」(39.5%)が4割で最も高く、次いで「災害に強いまち」(12.0%)などの順になっている。

また、第1位から第3位までを合わせた《累計》でみると、「治安の良いまち」(61.7%)が6割を超えて最も高く、次いで「災害に強いまち」(40.4%)、「便利に暮らせるまち」(38.0%)、「子どもたちが健やかに育つまち」(30.1%)などの順になっている。



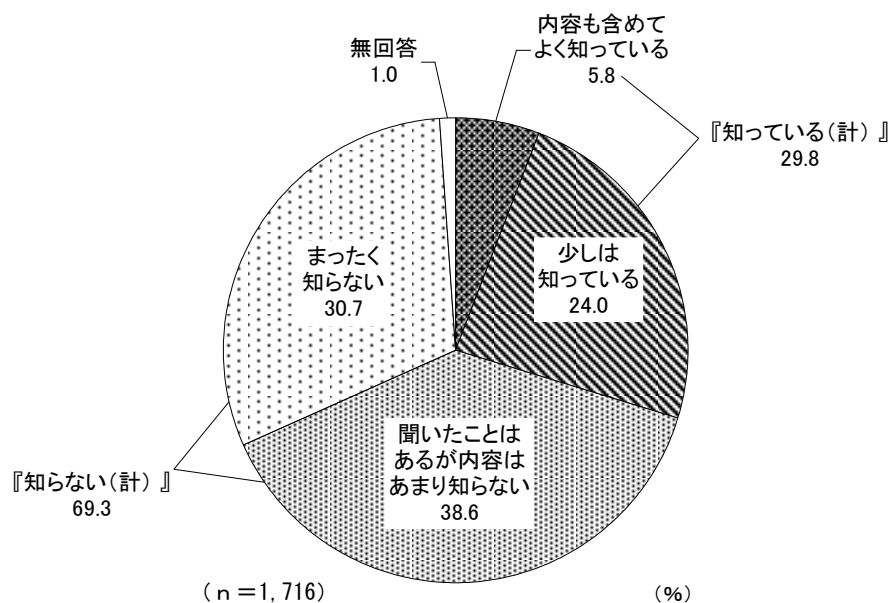
※累計の値は、第1位から第3位までのそれぞれの回答数を合計し、比率を再計算しているため、第1位から第3位までの値の単純な合計値とは、値が異なる場合がある。

3. 基本目標1 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

■こどもの権利（または「児童の権利に関する条約」）の認知度

・・・『知っている（計）』は3割

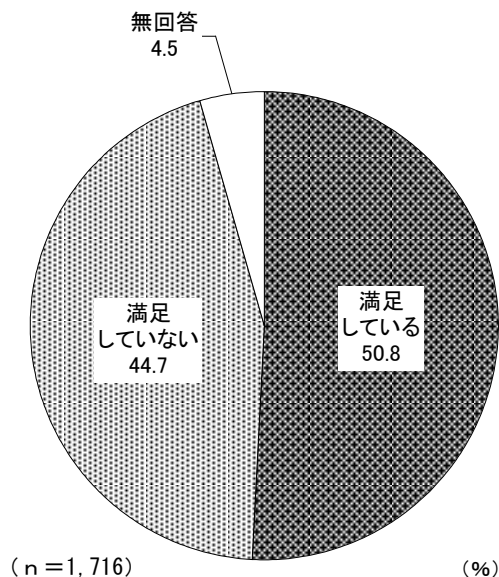
こどもの権利（または「児童の権利に関する条約」）について知っているか聞いたところ、「内容も含めてよく知っている」（5.8%）と「少しは知っている」（24.0%）を合わせた『知っている（計）』（29.8%）は3割となっている。一方、「聞いたことはあるが内容はあまり知らない」（38.6%）と「まったく知らない」（30.7%）を合わせた『知らない（計）』（69.3%）は約7割となっている。



4. 基本目標2 文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち

■区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境、気軽にスポーツ、健康づくりに取り組めたり、自由に学びを深められる環境への満足度・・・『満足している』は約5割

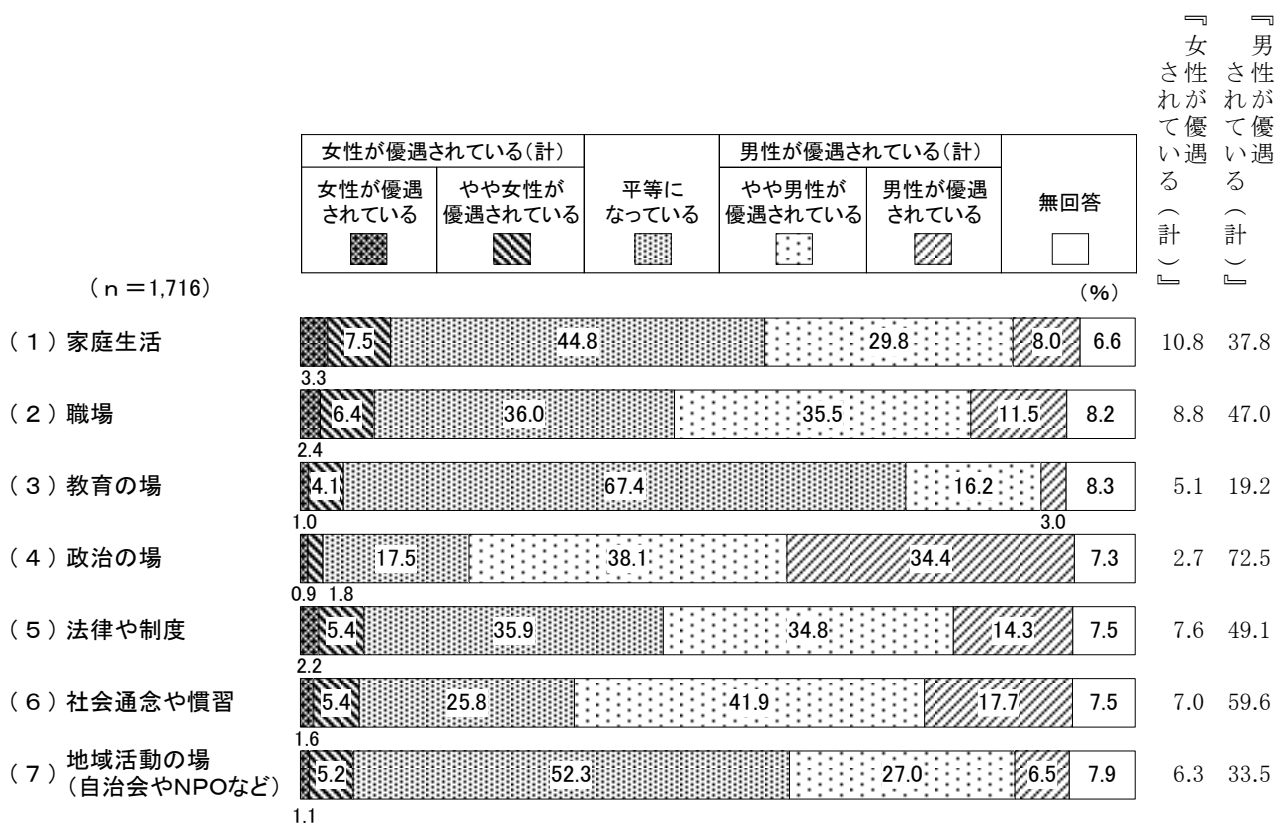
区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境、気軽にスポーツ、健康づくりに取り組めたり、自由に学びを深められる環境への満足度を聞いたところ、「満足している」（50.8%）が約5割、「満足していない」（44.7%）は4割半ばとなっている。



■男女の地位平等・・・『平等になっている』は“教育の場”で7割近く

『男性が優遇されている（計）』は“政治の場”で7割を超える

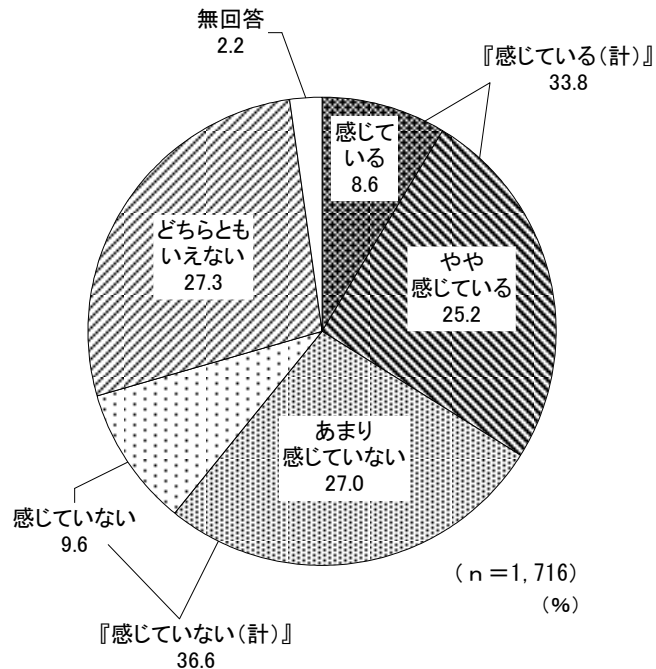
男女の地位について聞いたところ、「女性が優遇されている」と「やや女性が優遇されている」を合わせた『女性が優遇されている（計）』は“家庭生活”（10.8%）で約1割となっている。一方、「やや男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている（計）』は“政治の場”（72.5%）で7割を超え、“社会通念や慣習”（59.6%）で6割と高くなっている。また、「平等になっている」は“教育の場”（67.4%）で7割近く、“地域活動の場（自治会やNPOなど）”（52.3%）で5割を超えて高くなっている。



■大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか

・・・『感じている（計）』は3割を超える

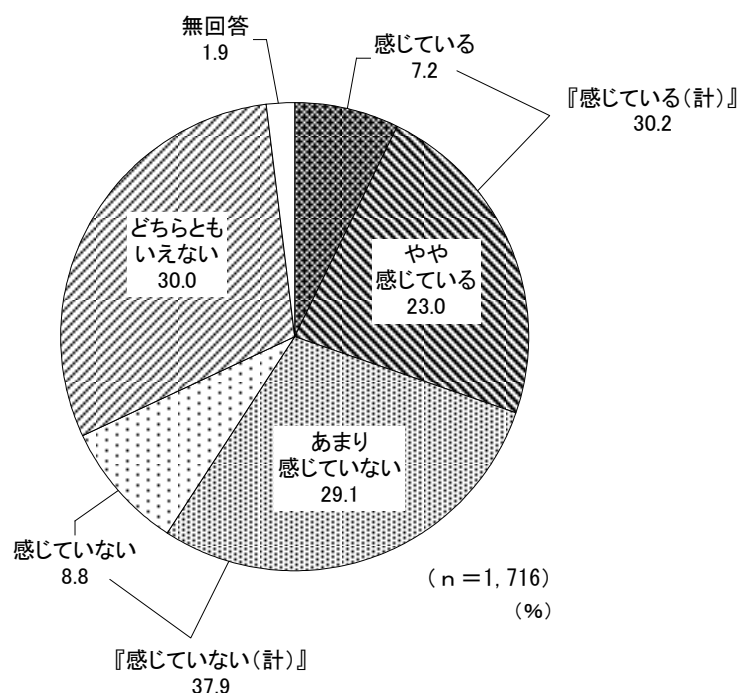
大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか聞いたところ、「感じている」（8.6％）と「やや感じている」（25.2％）を合わせた『感じている（計）』（33.8％）は3割を超えている。一方、「あまり感じていない」（27.0％）と「感じていない」（9.6％）を合わせた『感じていない（計）』（36.6％）は4割近くとなっている。



■障がいの有無にかかわらず理解しあう環境があると感じているか

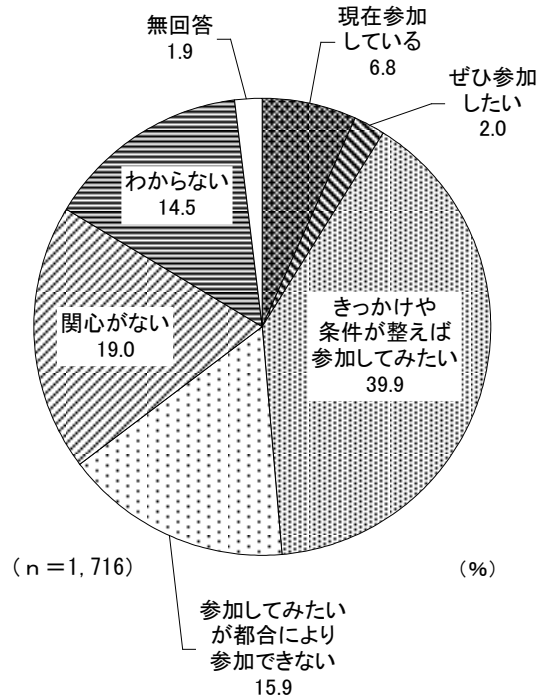
・・・『感じている（計）』は3割

障がいの有無にかかわらず理解しあう環境があると感じているか聞いたところ、「感じている」（7.2％）と「やや感じている」（23.0％）を合わせた『感じている（計）』（30.2％）は3割となっている。一方、「あまり感じていない」（29.1％）と「感じていない」（8.8％）を合わせた『感じていない（計）』（37.9％）は4割近くとなっている。



■地域活動への参加意向・・・「きっかけや条件を整えば参加してみたい」が4割

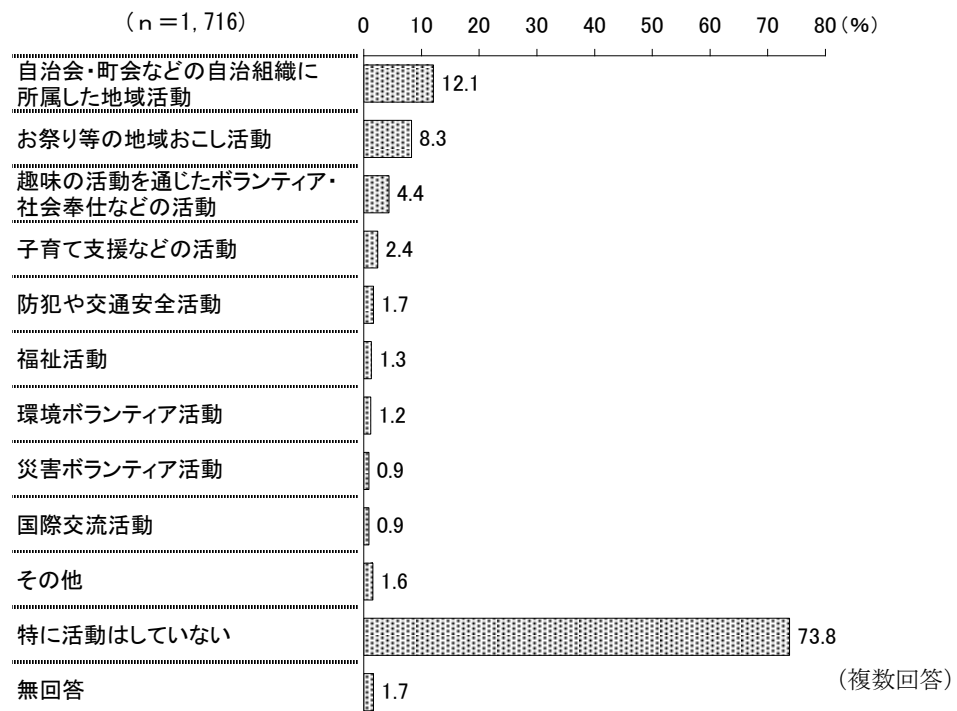
現在住んでいるまちで何らかの地域活動に参加したいと思うか聞いたところ、「現在参加している」（6.8％）と「ぜひ参加したい」（2.0％）は1割未満、「きっかけや条件を整えば参加してみたい」（39.9％）が4割となっている。一方、「参加してみたいが都合により参加できない」（15.9％）は1割半ば、「関心がない」（19.0％）は約2割となっている。



■地域活動に参加した、かかわった経験

・・・「自治会・町会などの自治組織に所属した地域活動」が1割を超える

過去1年以内で、地域活動に参加した、かかわった経験を聞いたところ、「特に活動はしていない」（73.8％）が7割を超えている。一方、経験がある中では「自治会・町会などの自治組織に所属した地域活動」（12.1％）が1割を超えて最も高く、次いで「お祭り等の地域おこし活動」（8.3％）などの順になっている。

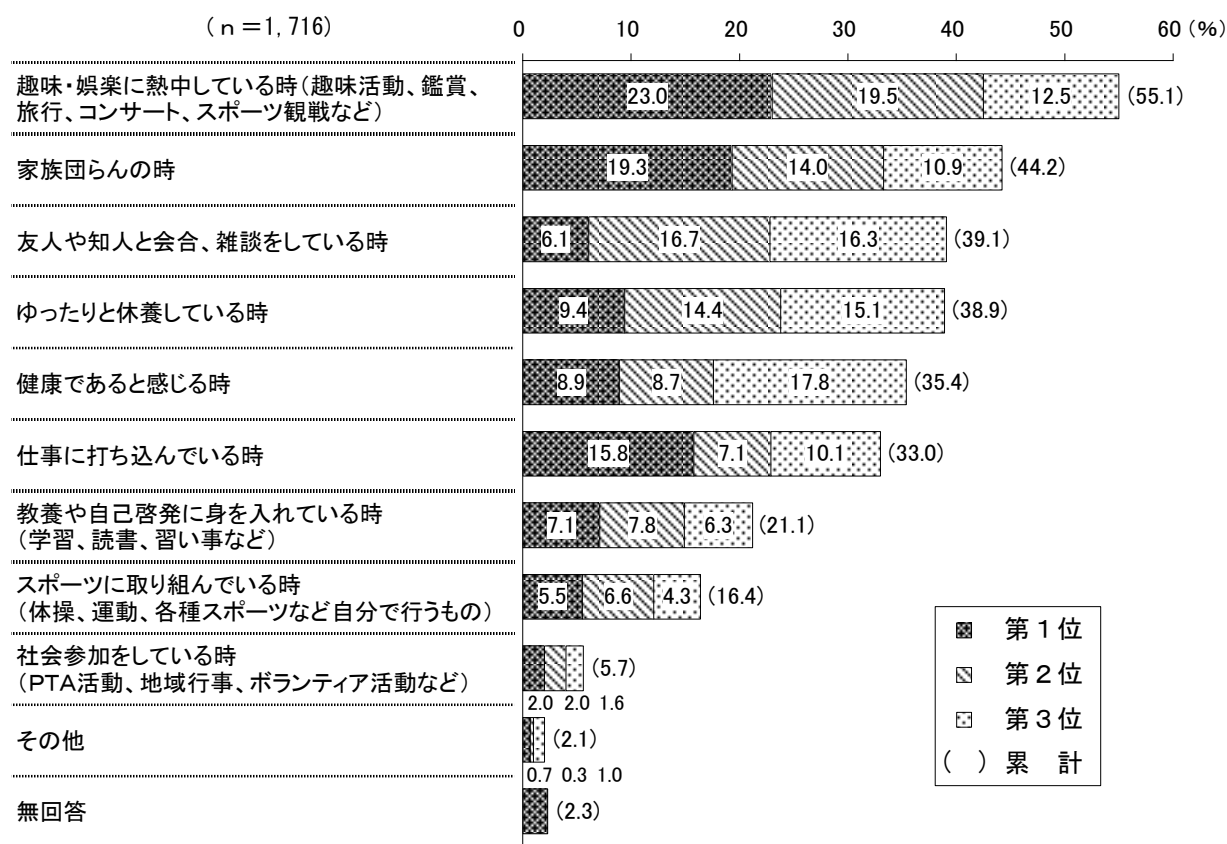


■日常生活のなかで充実感や張り合いを感じる時

・・・《累計》では「趣味・娯楽に熱中している時」が5割半ば

日常生活のなかで、充実感や張り合いを感じるのはどのような時か聞いたところ、第1位では「趣味・娯楽に熱中している時（趣味活動、鑑賞、旅行、コンサート、スポーツ観戦など）」（23.0%）が2割を超えて最も高く、次いで「家族団らんの時」（19.3%）、「仕事に打ち込んでいる時」（15.8%）などの順になっている。

また、第1位から第3位までを合わせた《累計》でみると、「趣味・娯楽に熱中している時（趣味活動、鑑賞、旅行、コンサート、スポーツ観戦など）」（55.1%）が5割半ばで最も高く、次いで「家族団らんの時」（44.2%）、「友人や知人と会合、雑談をしている時」（39.1%）、「ゆったりと休養している時」（38.9%）などの順になっている。

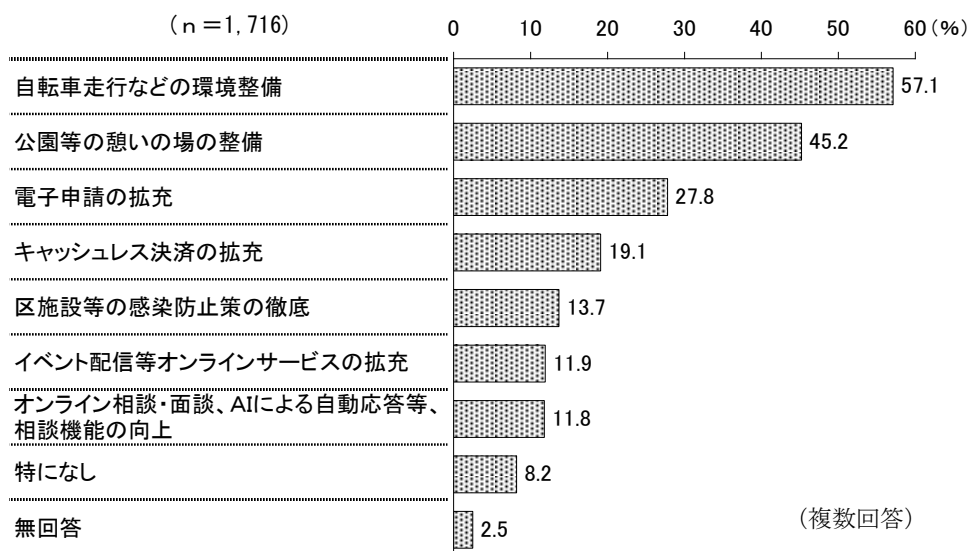


※累計の値は、第1位から第3位までのそれぞれの回答数を合計し、比率を再計算しているため、第1位から第3位までの値の単純な合計値とは、値が異なる場合がある。

5. 基本目標3 豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち

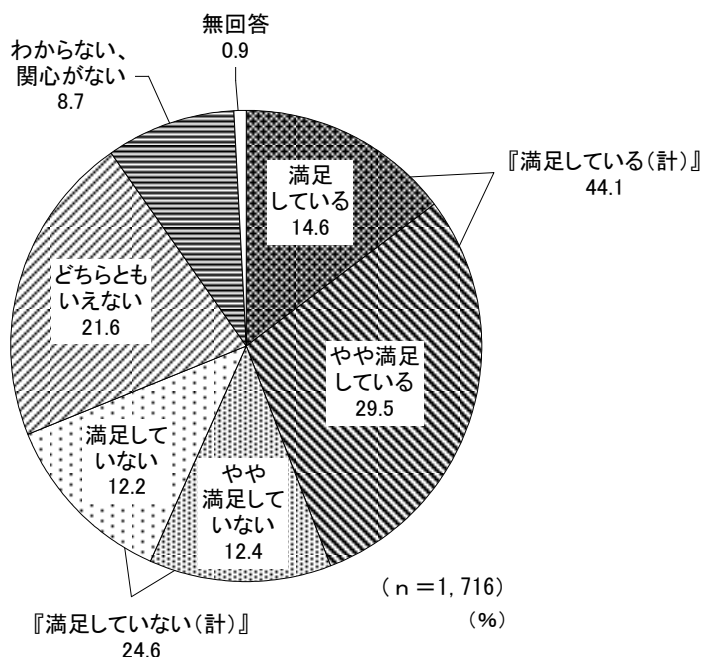
■区に取り組んでほしいこと・・・「自転車走行などの環境整備」が6割近く

区に取り組んでほしいことを聞いたところ、「自転車走行などの環境整備」(57.1%)が6割近くで最も高く、次いで「公園等の憩いの場の整備」(45.2%)、「電子申請の拡充」(27.8%)、「キャッシュレス決済の拡充」(19.1%)などの順になっている。



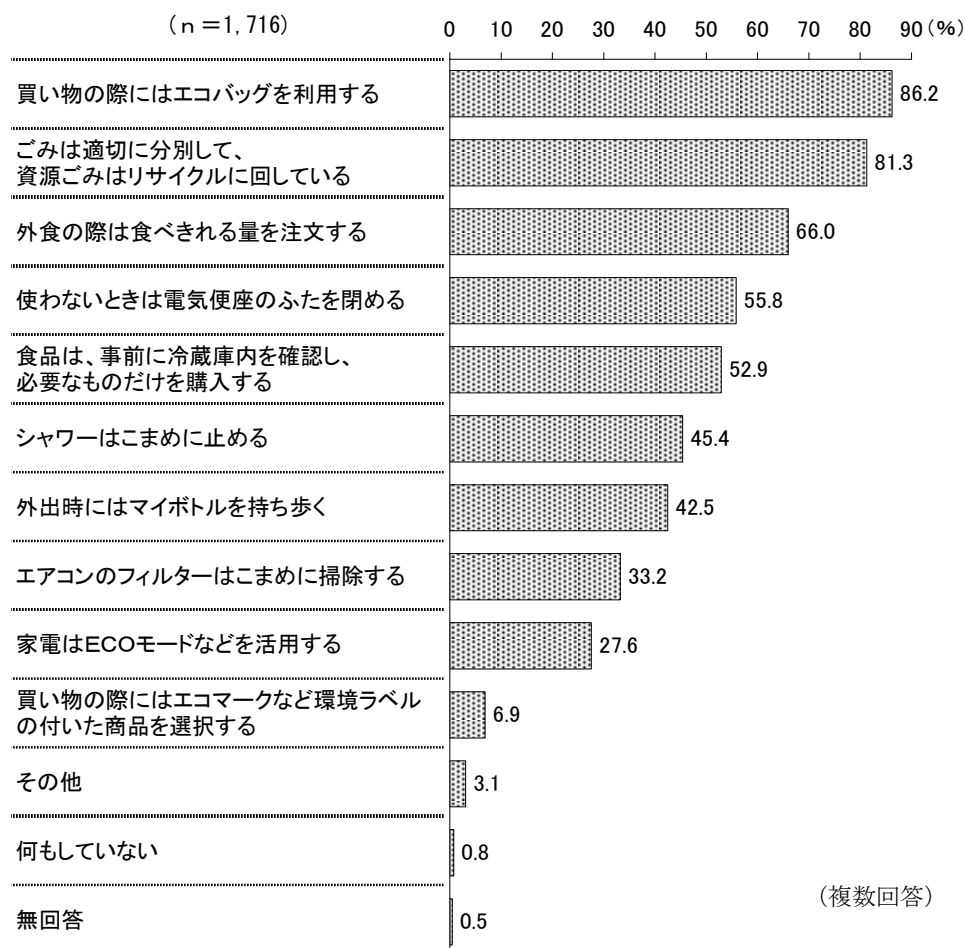
■生き物の豊かさへの満足度・・・『満足している(計)』は4割半ば

身近な場所で生き物の豊かさ満足しているか聞いたところ、「満足している」(14.6%)と「やや満足している」(29.5%)を合わせた『満足している(計)』(44.1%)は4割半ばとなっている。一方、「やや満足していない」(12.4%)と「満足していない」(12.2%)を合わせた『満足していない(計)』(24.6%)は2割半ばとなっている。



■家庭で実施している環境配慮行動・・・「買い物の際にはエコバッグを利用する」が8割半ば

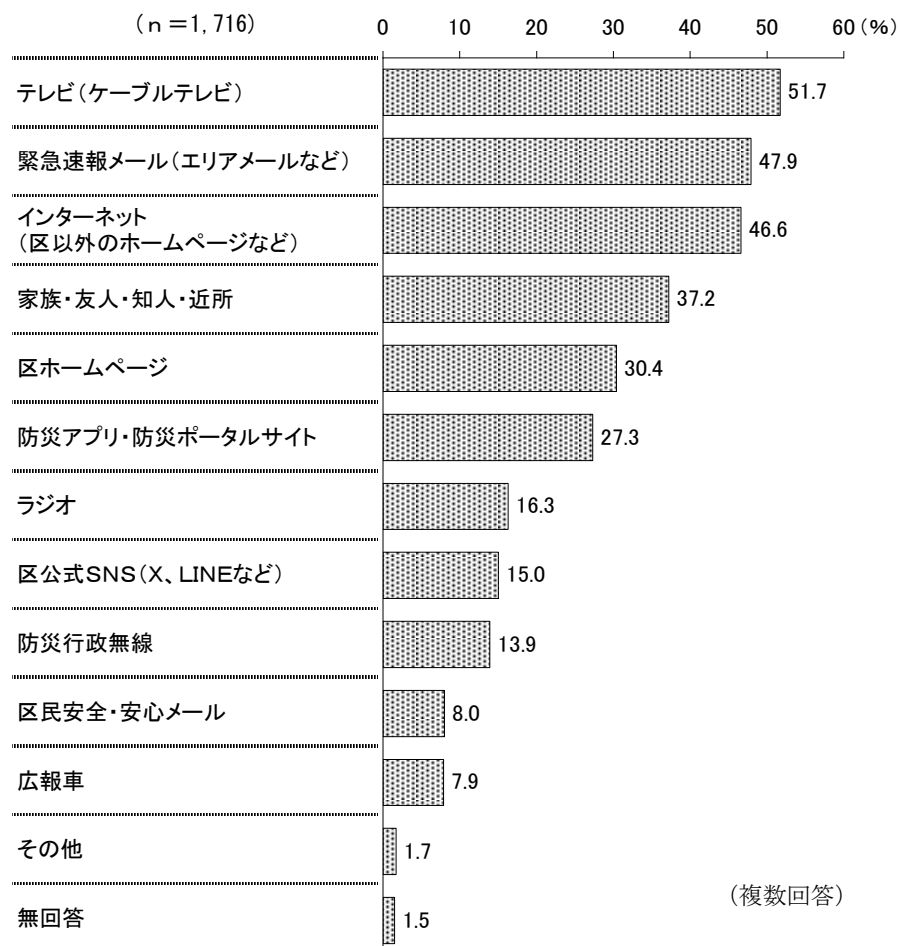
家庭で実施している環境配慮行動を聞いたところ、「買い物の際にはエコバッグを利用する」(86.2%)が8割半ばで最も高く、次いで「ごみは適切に分別して、資源ごみはリサイクルに回している」(81.3%)、「外食の際は食べきれる量を注文する」(66.0%)、「使わないときは電気便座のふたを閉める」(55.8%)などの順になっている。



6. 基本目標4 安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち

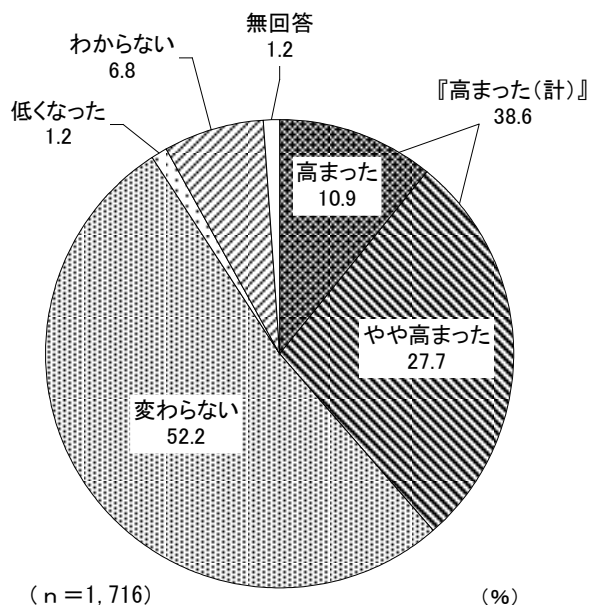
■災害情報の入手手段・・・「テレビ（ケーブルテレビ）」が5割を超える

災害情報の入手手段を聞いたところ、「テレビ（ケーブルテレビ）」（51.7%）が5割を超えて最も高く、次いで「緊急速報メール（エリアメールなど）」（47.9%）、「インターネット（区以外のホームページなど）」（46.6%）、「家族・友人・知人・近所」（37.2%）などの順になっている。



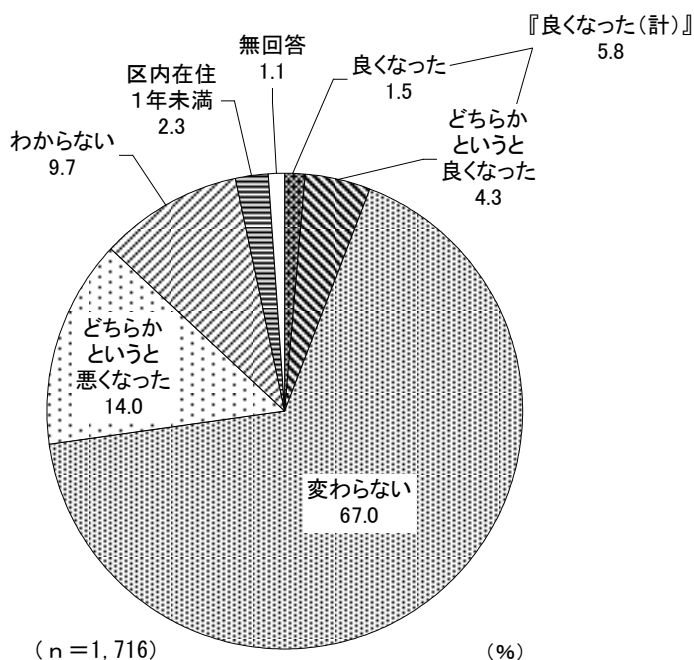
■防災に対する意識・・・『高まった（計）』は4割近く

1年前に比べて防災に対する意識が高まったと思うか聞いたところ、「高まった」（10.9%）と「やや高まった」（27.7%）を合わせた『高まった（計）』（38.6%）は4割近くとなっている。一方、「変わらない」（52.2%）は5割を超え、「低くなった」（1.2%）はわずかとなっている。



■住んでいるまちの治安の変化・・・『変わらない』が7割近く

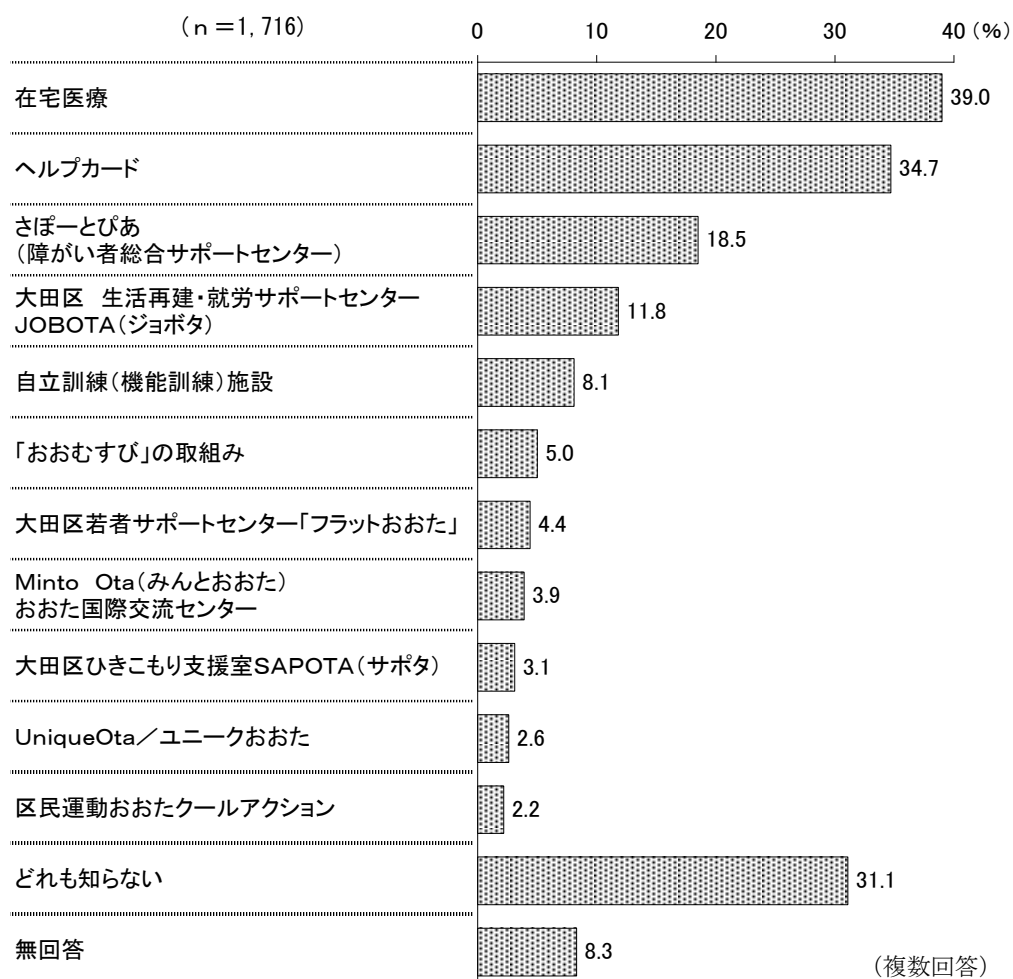
1年前に比べて現在住んでいるまちの治安はどのように変化したと感じているか聞いたところ、「良くなった」（1.5%）と「どちらかというと言良くなった」（4.3%）を合わせた『良くなった（計）』（5.8%）は1割未満となっている。一方、「変わらない」（67.0%）は7割近く、「どちらかというと言悪くなった」（14.0%）は1割半ばとなっている。



7. 区政への関心と要望

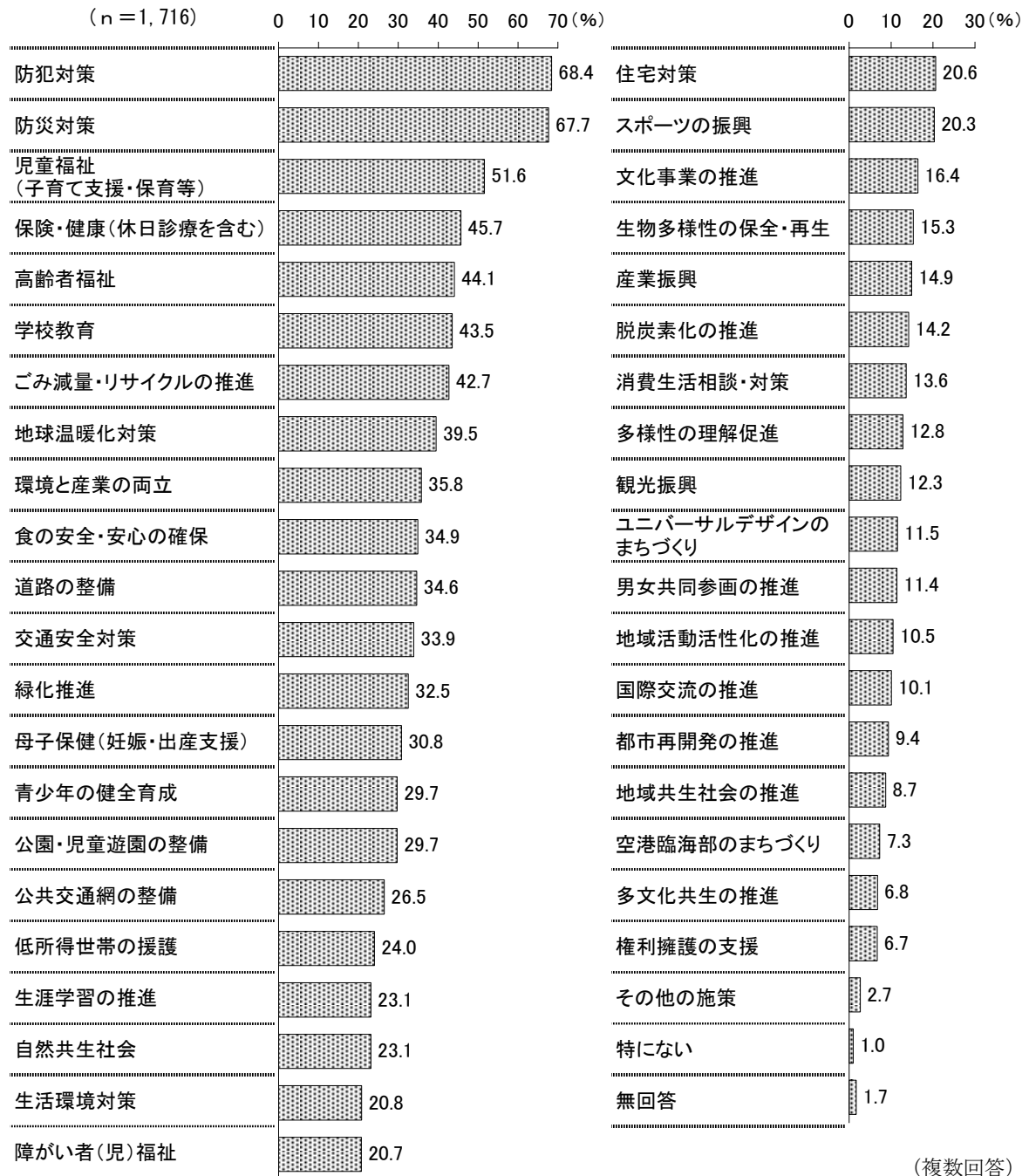
■大田区等の制度・施策・施設の認知度・・・「在宅医療」が約4割

区等の制度、施策、施設について知っているものを聞いたところ、「在宅医療」(39.0%)が約4割で最も高く、次いで「ヘルプカード」(34.7%)、「さぽーとぴあ(障がい者総合サポートセンター)」(18.5%)、「大田区 生活再建・就労サポートセンター JOBOTA(ジョボタ)」(11.8%)などの順になっている。一方、「どれも知らない」(31.1%)は3割を超えている。



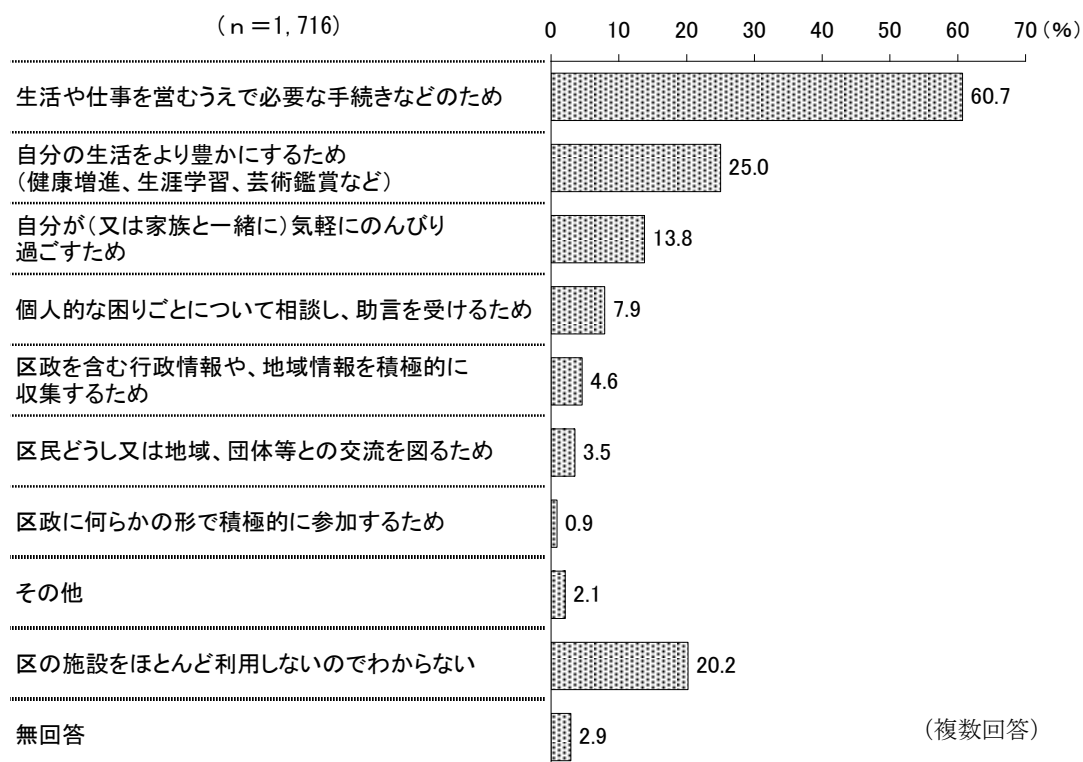
■施策要望・・・「防犯対策」と「防災対策」がともに7割近く

区の施策の中で、特に力を入れてほしいことを聞いたところ、「防犯対策」(68.4%)と「防災対策」(67.7%)がともに7割近くで高く、次いで「児童福祉(子育て支援・保育等)」(51.6%)、「保険・健康(休日診療を含む)」(45.7%)、「高齢者福祉」(44.1%)などの順になっている。



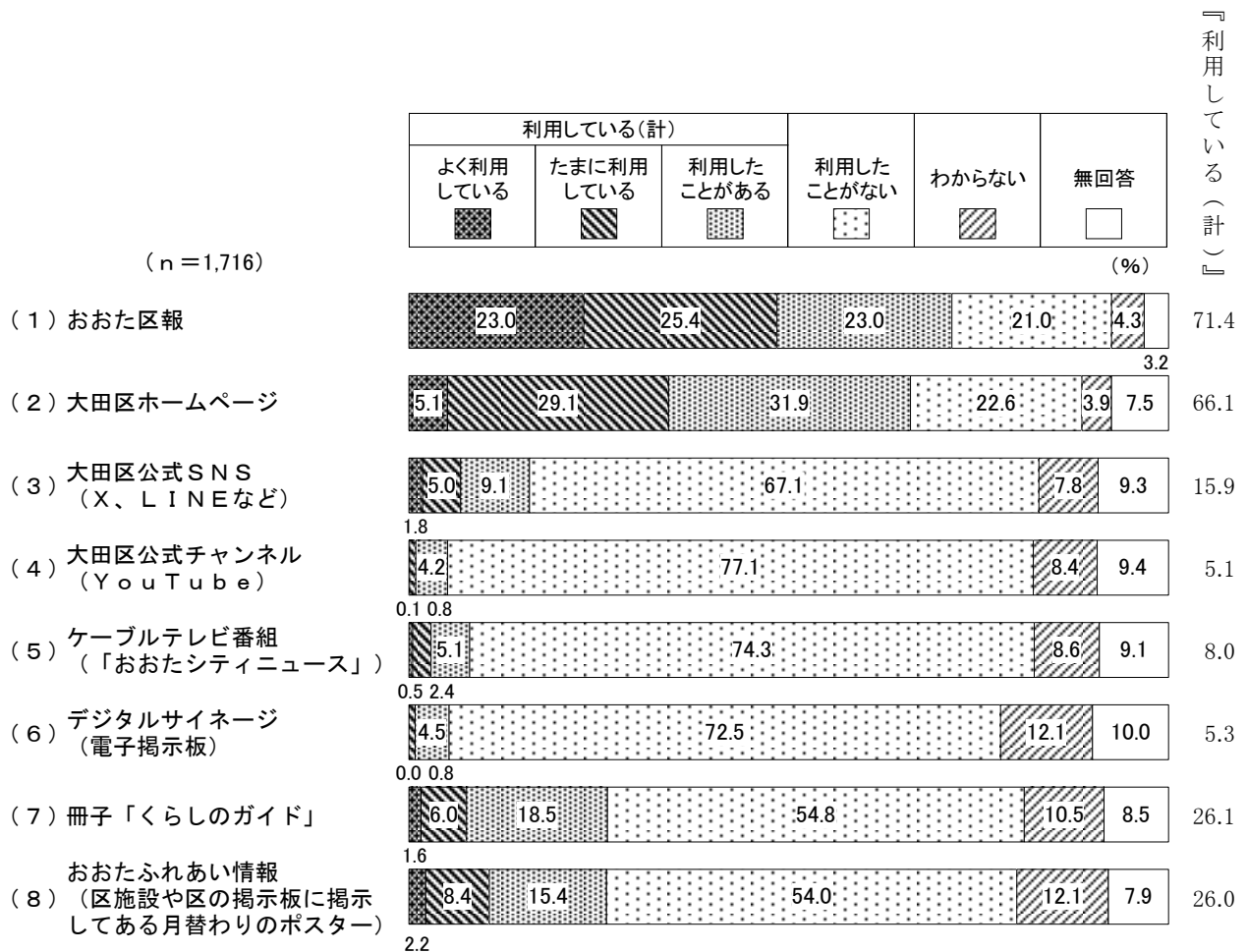
■区内施設の利用目的・・・「生活や仕事を営むうえで必要な手続きなどのため」が約6割

どんな目的で大田区の施設を利用することが多いか聞いたところ、「生活や仕事を営むうえで必要な手続きなどのため」(60.7%)が約6割で最も高く、次いで「自分の生活をより豊かにするため(健康増進、生涯学習、芸術鑑賞など)」(25.0%)、「自分が(又は家族と一緒に)気軽にのんびり過ごすため」(13.8%)などの順になっている。一方、「区の施設をほとんど利用しないのでわからない」(20.2%)は2割となっている。



■区の媒体の利用頻度・・・『利用している（計）』は“おおた区報”で7割を超える

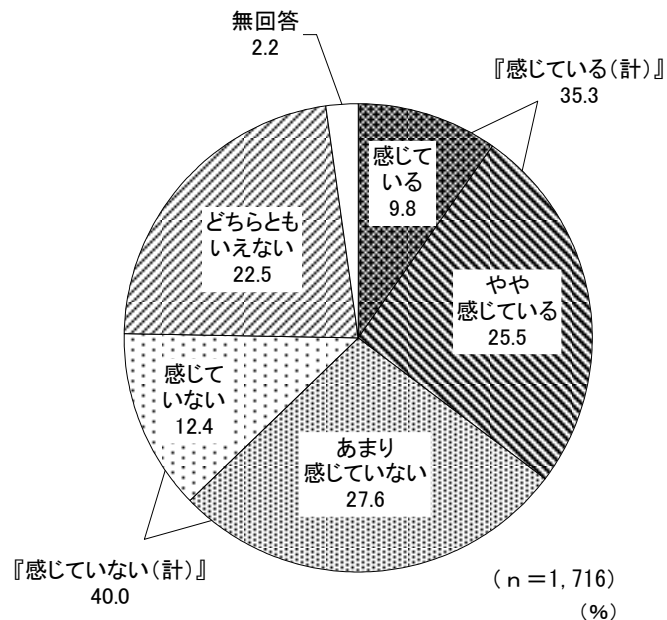
区政に関する情報を知りたいとき、それぞれの媒体をどの程度利用しているか聞いたところ、「よく利用している」、「たまに利用している」、「利用したことがある」を合わせた『利用している（計）』は“おおた区報”（71.4%）で7割を超え、“大田区ホームページ”（66.1%）で6割半ばと高くなっている。



■必要な区政情報がわかりやすく届いていると感じているか

・・・『感じている（計）』は3割半ば

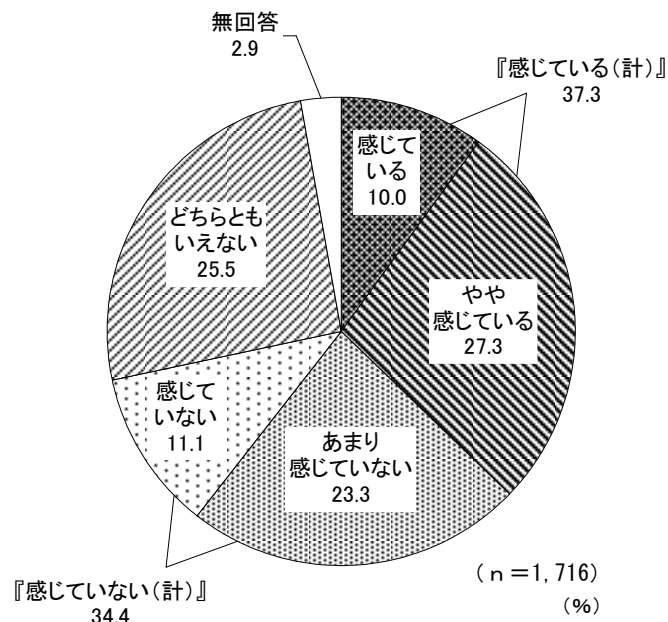
必要な区政情報が区報や区のホームページなどを通じてわかりやすく届いていると感じているか聞いたところ、「感じている」（9.8％）と「やや感じている」（25.5％）を合わせた『感じている（計）』（35.3％）は3割半ばとなっている。一方、「あまり感じていない」（27.6％）と「感じていない」（12.4％）を合わせた『感じていない（計）』（40.0％）は4割となっている。



■オンライン化により行政手続は便利になったと感じているか

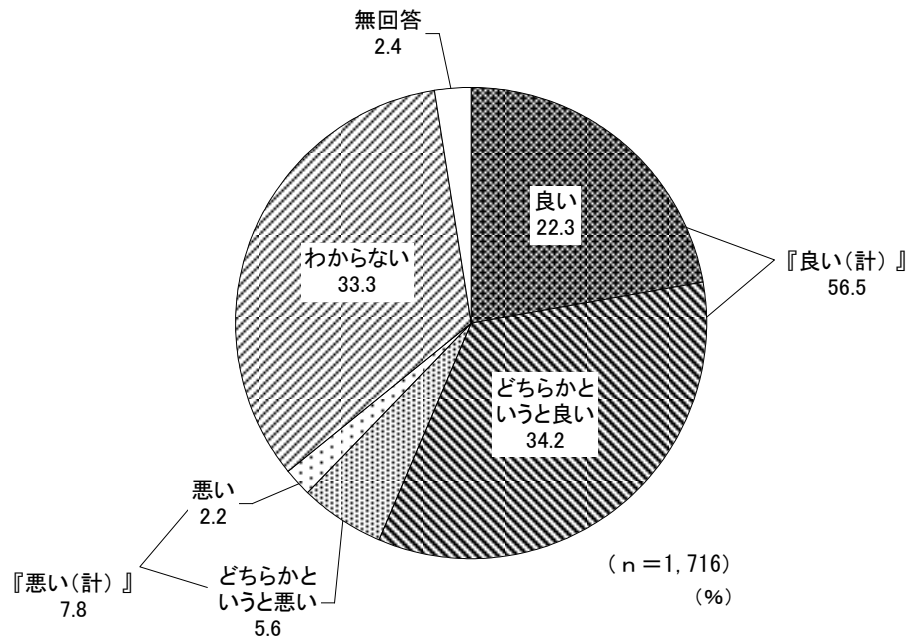
・・・『感じている（計）』は4割近く

オンライン化により行政手続は便利になったと感じているか聞いたところ、「感じている」（10.0％）と「やや感じている」（27.3％）を合わせた『感じている（計）』（37.3％）は4割近くとなっている。一方、「あまり感じていない」（23.3％）と「感じていない」（11.1％）を合わせた『感じていない（計）』（34.4％）は3割半ばとなっている。



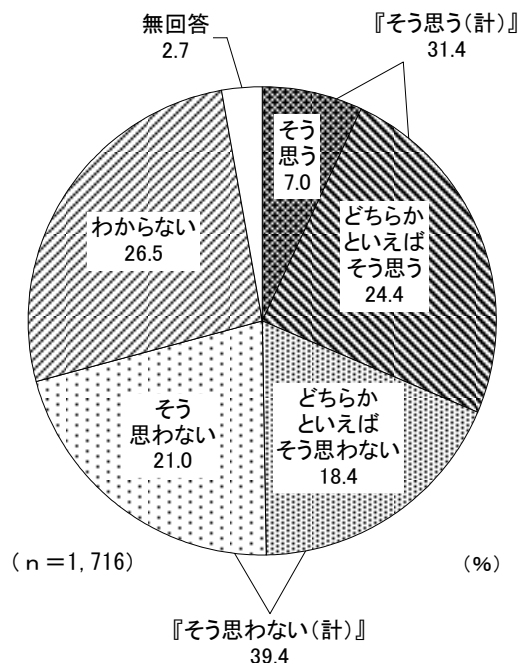
■区の職員の窓口や電話対応への印象・・・『良い（計）』は6割近く

区の職員の窓口や電話での対応について聞いたところ、「どちらかというが良い」（34.2%）が3割半ばで最も高く、これに「良い」（22.3%）を合わせた『良い（計）』（56.5%）は6割近くとなっている。一方、「どちらかというが悪い」（5.6%）と「悪い」（2.2%）を合わせた『悪い（計）』（7.8%）は1割未満となっている。



■区政への参加意向・・・『そう思う（計）』は3割を超える

何らかの機会や手段を通じて大田区政に参加したいと思うか聞いたところ、「そう思う」（7.0%）と「どちらかといえばそう思う」（24.4%）を合わせた『そう思う（計）』（31.4%）は3割を超えている。一方、「どちらかといえばそう思わない」（18.4%）と「そう思わない」（21.0%）を合わせた『そう思わない（計）』（39.4%）は約4割となっている。



大田区政に関する世論調査（概要版）

令和7年11月発行

発行 大田区 企画経営部 広聴広報課
東京都大田区蒲田五丁目13番14号
電話：03-5744-1135
FAX：03-5744-1504

